

令和7年度 認定こども園南中山の取り組みと園評価

令和8年 3月

今年度の園の取り組みを一人一人の職員自身が振り返り、各クラスや園全体として、成果や課題、改善方策などを協議・検討し、園評価としてまとめました。今後も、乳幼児教育・保育活動の充実や向上に努めていきたいと思えます。

Ⅰ 乳幼児教育・保育活動の成果と課題

① 成果

(1) 環境を通しての乳幼児教育・保育

主体性を尊重する乳幼児教育・保育の実現に向けて、子ども達が「やってみたい」と自ら選び、じっくりと試したり工夫したりできるような環境づくりを進めてきました。各クラスや園全体で、日々の遊びや活動を振り返り、一人一人の子どもの主体性が継続して育まれるような環境の再構成に努めています。

本園は、自然豊かな環境に恵まれており、園庭での遊びを中心に、砂や土、赤土、泥、どんぐり、草花、おなもみ、小さな生き物（赤とんぼやバッタなど）に触れながら、直接的な体験を通して、子ども達の好奇心や意欲の芽生えへとつながっています。

また、自然物を使った感触遊びや見立て遊び、ごっこ遊び、運動遊び、友達と協力する遊びなど、戸外でのびのびと体を動かして、体力づくりや自然との関わりを深めています。

遊びこめる環境を大切にしていく中で、「明日も、また続きをやりたい」と子ども達自身の遊びが継続しています。このような経験を通して、自分自身の気持ちを伸び伸びと表出し、やりたいことに自ら取り組もうとする力が育っています。

今後も、一人一人の子どもの思いを受け止め、主体的に活動できる環境の工夫について園全体での取り組みを続けていきます。



(2) 小学生との触れ合い

本園は、隣接している小学校の児童が、日頃から意欲的に教育活動に取り組んでいる様子を身近に感じられ、大変恵まれた環境です。特に、小学校の体育大会前は、園庭遊びを楽しみながらも、自ら興味をもって見学している姿が見られています。就学していくことへの期待感が、日常の中で少しずつ芽生えています。

年度当初に、小学校教師とこども園職員との話し合いの場を設け、幼小接続の年間計画を柔軟に見直しながら、継続して連携を進めています。就学前の5歳児については、赤米の田植えや収穫の見学、ドッジボール交流、学習発表会リハーサル見学などの活動を積極的に取り入れました。なお、年間を通して、日頃のつながりの中での互恵的な連携に配慮しています。



(3) 地域の人たちとの触れ合い

今年度も、地域との関わりを大切に、毎月の地域広報誌には子ども達の遊びや活動の様子を写真とともに掲載し、日頃の様子を広く発信しています。地域の方々の協力により、様々な地域行事への参加や、自治振興会・派出所による交通安全指導など、長期的な見守り活動も継続しています。

こうしたつながりを家庭・地域・学校協議会の場でも共有し、本園の現状と地域の方々への感謝をお伝えしながら、今後の方向性についての共通理解を深めています。

(4) 保護者との連携

ICT ツールを活用し、日々の遊びや活動の写真を添えて配信することで、子ども達の表情や育ち合いの様子をタイムリーに保護者へお届けしています。日頃の遊びや園活動の様子が具体的に見えるようになり、子ども達がどのように遊び、育ち合っているのかが伝わりやすく、家庭との連携がさらに深まっています。

また、日頃の遊びや園活動を通して、子ども達の学びの芽生えや乳幼児教育・保育過程に沿った保育者の願いやねらいへの理解にもつながっています。

このように、乳幼児教育・保育過程を可視化することが保護者との相互理解につながり、より良い関わりづくりへと発展しています。



以上のような取り組みを積み重ねる中で、園での活動や遊びを通して、多くの直接体験や経験をしてきました。

友達との関わりや仲間との間では、思いが通じ合う喜びや達成感だけでなく、うまくいかない場面や葛藤も味わいながら、その一つ一つを乗り越える力を育てています。こうした経験を通して、自分なりの自信へとつながり、人として、よりたくましく心豊かに生きようとする力の基盤が確かに育ってきていると感じています。

そして、小学校や地域の方々、保護者の皆様の温かいご協力のもと、様々な方々との出会いや関わりから、人とのつながりの中で学べること、支えられながら育ち合っていく姿には、今年度ならではの深まりがありました。

② 課題

今後、乳幼児教育・保育の全体的な計画と活動実践とのつながりや、主体的に活動したくなるような環境の工夫について、園全体での取り組みを継続していきます。

また、ICT活用をした保護者への情報発信は積極的に取り組むことができたが、地域への発信についても、引き続き、工夫を重ねていきたいと考えています。

2 来年度の園経営、乳幼児教育・保育活動における改善方策

今後も、全職員で協働しながら乳幼児教育・保育の質の向上をはかっていきます。

定期的な避難訓練や交通安全指導では、子ども達自身でも、命を守る大切さに気付ける機会となるように実施をしています。また、実施後は、安全・危機管理をより確かなものとするため、改善点を確かめ合い、次の訓練や日常的な園生活へと活かしていけるように、引き続き取り組み続けていきます。

保護者の皆様とともに、子どもの最善の利益を第一に考え、家庭・地域・小学校との連携をさらに深め、より充実した乳幼児教育・保育の実践につなげていきたいと考えています。